



## 令和3年度スーパーコンピュータ「富岳」利用研究課題の 定期募集(年二回募集の第二回目)の選定結果について

スーパーコンピュータ「富岳」を利用する令和3年度の定期募集(年二回募集の第二回目)では、25件の応募があり、この中から22件を採択しました。

今回採択された課題については、早期の成果創出を期待し、利用開始時期を予定していた10月1日から9月1日に早めて、利用可能とします。

高度情報科学技術研究機構(理事長 田島保英)は、登録施設利用促進機関及び文部科学省委託事業「HPCIの運営」代表機関として、スーパーコンピュータ「富岳」<sup>(\*)</sup>を用いた利用研究課題を広く一般から募集し、実施課題を選定しています。

「富岳」については年二回利用研究課題の募集を行っており、一回目をA期募集(4月利用開始)、二回目をB期募集(10月利用開始)としています。

今回は令和3年度B期募集の選定結果についてお知らせします。

令和3年度B期「富岳」利用研究課題には25件の応募があり、22課題を採択しました。今回採択された課題は、10月1日に予定していた利用開始時期を9月1日に早め、利用準備や開始手続きが完了した課題から利用可能とします。なお、利用終了時期は当初予定通り、2022年9月末です。

また、令和3年度B期の「富岳」一般課題では、A期募集に引き続き、政府の方針等を踏まえ、重点的に推進する研究分野を重点分野<sup>(\*\*)</sup>として設定しました。この重点分野の1つである「感染症対策に資する研究開発」に1件の応募があり、重点分野の課題として採択されました。

なお、B期採択課題の22件のうち、半数にあたる11件は、昨年度「富岳」の共用前評価環境において、利用の検討・準備を行うことを目的として募集した「富岳」試行的利用課題(早期利用課題、利用準備課題)を経て応募された課題であり、「富岳」利用の拡大、ステップアップが効果的に進んでいます。

この結果は、本日付けで課題代表者に通知するとともに、HPCIポータルサイト<sup>(\*\*\*)</sup>にも掲載する予定です。

課題の種類別の応募数、採択数

資源	課題の種類	応募数	採択数
「富岳」	一般課題 <sup>(注1)</sup>	13(1)	11(1)
	若手課題	3	3
	産業課題	9	8
合計		25	22

(注1) 「富岳」一般課題の括弧内は重点分野の件数(内数)を示す。

(\*1)スーパーコンピュータ「富岳」

スーパーコンピュータ「京」の後継機として理化学研究所と富士通が共同で開発・整備した計算機。社会的・科学的課題の解決で日本の成長に貢献し、世界をリードする成果を生み出すことを目的とし、電力性能、計算性能、ユーザーの利便性・使い勝手の良さ、画期的な成果創出、ビッグデータや AI の加速機能の総合力において世界最高レベルのスーパーコンピュータ。

15万8976個の中央演算装置(CPU)を搭載し、1秒間に約44京2010兆回の計算が可能。2020年6月と11月、2021年6月に世界のスパコンランキング「TOP500」「HPCG」「HPL-AI」「Graph500」で3期連続の世界一位を獲得した。

(\*2)重点分野

年度ごとに、政府方針、社会情勢などを踏まえた「重点分野」が設定される。「重点分野」に適合すると判断された課題は優位性を持って審査される。令和3年度に設定された重点分野は「感染症対策に資する研究開発」と「次世代コンピューティングに資する基盤研究開発」の2つである。

(\*3)HPCI ポータルサイト

<https://www.hpci-office.jp>

◆問い合わせ先

一般財団法人高度情報科学技術研究機構 神戸センター 広報部 内山、中山

〒650-0047 神戸市中央区港島南町 1-5-2

TEL: 078-599-9511 FAX: 078-599-9513 E-mail: koho@hpci-office.jp

ヘルプデスク:

TEL: 078-940-5795 FAX: 078-304-4959 E-mail: helpdesk@hpci-office.jp